

会報むら竹

特集「むら竹会北陸サミット in 金沢」開催



むら竹会の絆を胸に未来に向かう

むら竹会 和洋女子大学同窓会 会長 高梨 禮子

コロナ禍においてまだ予断を許さない感染状況であることを踏まえ、活動報告を会報にてお知らせできますことを嬉しく思います。

本会において学生に対する奨学金制度がありますが、現状では直接学生に接することができませんでした。昨年学園の支持をいただき叶えることができましたこと、学生大学教職員に大変喜んでいただきました。今後学生に対して同窓会活動充実の方向性を鑑み、相互の意見交換そして交流が必要であると実感しました。

また、むら竹会において最も大きなミッションであるサミットを開催しました。沖縄九州地区をはじめ北海道東北地区そして、最後の「むら竹会北陸サミット in 金沢」が石川県金沢において9月27日盛大に行われました。

学園創立125周年を記念して「和洋の教育を受けた卒業生5人のモデル」を紹介しさらに金沢市副市長様はじめ最大級の方々のご出演は思い出に残る最高の時をいただきました。多くの方に喜んでいただけたのも学園側から理事長先生・学長先生・中高の校長先生はじめ皆様のご協力の証と心得言葉もありません。

今年は10年に一度と言われる寒い日が襲来し、その中年末の12月26日和洋学園体育館一階にむら竹会室を移転しました。前面がガラス張りの展望は迫力満点といえましょう。芝生のキャンパスの中を行きかう元気な声の生徒や学生が素敵ですよ。是非お立ち寄りください。私も今年こそは支部会訪問を楽しみにしております。

125周年記念行事

和洋学園 理事長 長坂 健二郎



昨年は本学園が創設された明治30年から数えて丁度125年になる。これを記念して様々な行事、出版等の活動が行われている事をご高承の通りである。その一端をご披露すると、まず第一に挙げられるのが創設者、堀越千代先生の足跡を辿った「自営の心」の出版である。これは千代先生のご出生地、岩手県盛岡に因んで地元新聞、岩手日報社が郷土の先人に脚光をあて、その事跡から多くの教訓を学ぼうとするもので、同紙に22回にわたり掲載された記事を中心に若干の増補改訂を行って一冊に纏め、昨年5月に上梓された。

このほかにも各種行事が行われており、7月には本学園初の新能が演じられた。残念ながら当日は雨天だったので、舞台を講堂に移して実施されたが、本格的な能狂言の上演に多くの聴衆が感銘を受けられたようである。

加えて、昨年秋からは内外講師を招いて連続講演会を行っている。これは平素、学部中心の勉強に励んでいる学生諸君に広い視野から違った分野の知識を学んで貰おうという企画で、毎月1回、約1年かけて各界の権威者に来て頂き、講演をして頂く事になっており、すでに第1回は昨年10月、ノーベル賞受賞者の野依良治先生から日本人の科学する心について、分かりやすいお話を聞かせて頂いた。

その他、直接の学園主催ではないが、むら竹会の北陸サミットも圧巻であった。出演者がいづれも超一流の方々と、一般の同窓会の水準をはるかに超えた豪華な会合となった。

このように私達は125周年を機に内外に向けて活発な活動を続けており、これによって和洋の声価が更に高まる事を願っている。

人生100年時代の女子大学の課題

和洋女子大学 学長 岸田 宏司



明治に設立された和洋学園は、大正、昭和と時代の要請に応えながら姿を変えてきました。そして平成を経て、令和4年に設立125周年を迎え、次の時代への新たなスタートを切りました。

125年の間に社会は戦争を経て高度産業社会から超高齢社会へと激変しました。つい最近までは人生80年時代と言われていましたが、今では人生100年時代へと変わりました。一段と長寿化が進むことが予想される今後ですが、超高齢社会に向けた経済・社会の再構築が模索されています。

そして経済成長を支えるための「能率や効率」、「進歩や発展」が重んじられる社会から、現在は「自立、共生、参画、公平」な社会の構築を目指した経済の再生が希求されています。私たちの生活を振り返れば、「大量生産、大量消費」が当たり前でした。しかし今は「多品種少量生産と消費」の時代を迎えています。こうした社会変化が、企業や産業を中心とした社会から地域と生活に軸足を置いた社会への転換が模索されています。経済成長や人口増を前提とした現在の社会制度はその維持に陰りが見えており、今の社会価値観、人口構造に適した社会の改革が進んでいます。

大学にはこうした社会変化を受けとめ、これからの時代を担う人を育てることが社会に求められます。和洋女子大学では人生100年時代に必要の地域で自立して活躍できる専門性を有した人を育てることを目指しています。そして女性の人生に寄りそった教育を提供する大学づくりを進めることで、新しい時代の和洋女子大学を構築する計画です。これからも卒業生のみな様のご支援をお願い申し上げます。

学校法人和洋学園 創立125周年記念事業 ご寄付のお願い

創立125周年記念式典は、2023(令和5)年9月27日(水)に開催することとなりました。

記念すべき節目に更なる教育環境の充実を目指しております。

卒業生の皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。

※ご寄付のお手続き方法につきましては、同封の「申込書」裏面をご覧ください

…創立125周年記念事業では、以下のような取り組みを行っております…

〈記念式典、記念講演会、125周年記念誌刊行、堀越千代先生記念本出版、奨学金、その他各種記念事業〉

2022年度稗方・むら竹会奨学金
「採用決定者の集いの会」が開催されました

8月24日、2022年度稗方・むら竹会奨学金制度への採用が決定した「採用決定者の集いの会」が開催されました。

稗方・むら竹会奨学金とは、初代学長の稗方弘毅(ひえかたこうぎ)先生の「稗方」と、大学の同窓会「むら竹会」の名前を冠した、和洋女子大学独自の給付型奨学金制度です。

大学同窓会「むら竹会」の活動に賛同し、修学意欲が高く成績優秀な学生たちを、経済的に支援するもので、日本全国の卒業生からの援助で成り立っています。

出席者:学生8名(3名は実習等の為欠席)



ご退職の先生方

釜屋 洋子 先生(看護学科)
上松 恵子 先生(看護学科)
永岡 裕康 先生(看護学科)
庄司 妃佐 先生(家政福祉学科)
大沼 良子 先生(家政福祉学科)

同窓会活動へのご協力ありがとうございました。

追悼

和洋女子大学 名誉教授 林 喜美子 先生
令和4年3月9日(享年85歳)
和洋女子大学 名誉教授 清川 英男 先生
令和4年4月26日(享年84歳)
和洋女子大学 名誉教授 斎藤 熙子 先生
令和4年8月16日(享年93歳)
和洋女子大学 名誉教授 山本 政 先生
令和4年10月11日(享年93歳)
和洋女子大学 元学長 蓮見 音彦 先生
令和4年10月13日(享年89歳)

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます

令和4（2022）年度 卒業年度同期会幹事の皆さん

国際学科
日本文学文化学科今井友加里
高崎沙希
濱田奏音
小角千寿
久米理菜
遠藤萌々
前沖里奈心理学科
こども発達学科五十嵐愛花
土屋優樹
藤田真悠
山崎晶穂
吉田桃菜
岩立未生
京須珠有
草薙真奈
布施結衣服飾造形学科
健康栄養学科越川塔子
根本郁佳
西村美穂
中田彩葉
菊田芽依
亀田彩乃
満田美咲
竹村花菜家政福祉学科
看護学科鈴木美空
長島未玖
野村奈生
平野真笑
生島莉子
石井耀子
掛井百那
岸本胡桃

※同期会幹事の皆様は、学科同期生の要となり大学とのパイプ役となる方々です。卒業生交流行事への積極的なご協力をお願いしています。



第63回 里見祭

里見祭実行委員会 委員長 鳥飼 理乃

2022年10月29日・30日に、対面開催での開催としては3年ぶりとなる第63回里見祭（対面・オンライン同時開催）を開催いたしました。

今年度の里見祭実行委員会は、委員全員が対面で行なう里見祭は初めてという状況での準備となりました。

実行委員は授業やアルバイト、就職活動などと並行して里見祭の準備活動を行なっており、なかなか人数が集まらず、スムーズにはいかない大変さがありましたが、委員の自覚を持って努力しようという面では、全員が心を通わせ、協力して進めることができました。

何より、同窓会の皆様をはじめとして多くの方々にご支援を頂いたおかげで、無事終了することができました。実行委員会一同、心より御礼申し上げます。

今年度の開催テーマは「百花繚乱」でした。素敵な企画の数々やそれを支える人々を例えて「色々な花・優れた人が咲き乱れること」という意味をあらわしております。

実行委員や参加団体の活動、当日の様子からこのテーマを達成できたことを感じております。

コロナ禍のため、制限を設けた開催方法となり、ご不便をお掛け致しましたが、結果として、参加者にご来場くださった皆さんの健康と安全を守ることができたと実感しております。

来年度は制限の無い里見祭となることを願うとともに、より楽しめる学園祭作りに向かっていけるよう引き継ぎを行なって参ります。

引き続きあたたかく見守ってくださると幸いです。

開催報告はHP・YouTubeにもそれぞれ掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

第63回里見祭HP

<https://wayo-fes.com/>

令和4年度 和洋女子大学大学院 修士論文発表会・博士論文公聴会

人文科学研究科

日本文学専攻 修士課程 令和5年2月17日（金）

総合生活研究科

総合生活専攻 博士前期課程 令和5年2月22日（水）
博士後期課程

卒業制作展

日本文学文化学科

◎文化芸術専攻第12期生
市川市文化会館展示室での
展示（R5.2月10日～13日）と
「Web展覧会」を開催。

◎書道専攻

第48回「雁鴻会書展」
R5年2月上旬～3月上旬
在住または出身市町村に
おいて個展形式で開催。

博物館学芸員課程

◎2022年度 博物館学芸員課程 学生展
「もっと知りたい! うさぎ」発見展」開催
（R4.12月9日～R5.1月20日）文化資料館
にて）

服飾造形学科

- ・東館1階エントランスに一部を展示
（R5.1月20日～27日）
- ・卒業制作ショー（2月12日（日））
有観客（保護者のみ）で開催
一般にはオンライン配信にて発表。



「むら竹会北陸サミット in 金沢」開催

2022 (令和4) 年9月27日



堀越千代 先生
(版画 中島富美 作)

コロナ禍で延期されていた北陸サミットを、まさに創立125周年の日に金沢の地で開催することができました。前泊の方、当日早朝お出掛けの方、約100名の方々が金沢駅から徒歩1分のANAクラウンプラザホテルの会場に集合し、午前11時より開始となりました。



第1部

主催者挨拶・記念講演・来賓挨拶



総司会
稲村 なおこさん



高梨 禮子 会長



金沢の観光政策
について



山田 啓之 副市長



岩手日報社 社長
主筆 東根 千万億様



長坂 健二郎 理事長



岸田 宏司 学長

「むら竹会北陸サミット in 金沢」感想

新田 千代子 (石川県 S41 被服学科)

北陸サミットが無事終了いたしました。開催に際してご尽力くださいました方々に厚くお礼を申し上げます。当初、計画していた案がコロナ禍で廃案となり再度、高梨会長のご指導のもと若い方の協力を得て、本部が当日の設営対応にあたられました。



石川県支部の一員として詰めの段階で体調を崩し皆様に迷惑をかけた事が残念でなりません。今回学んだのは「人と人とのつながりの大切さ」です。

松田 順子 (岩手県 S52 生活学科)

岩手県支部より参加しました。

当日の会場では、綺麗に綴られた手作りのプログラムと目一杯のアトラクション!!が準備されていました。

オミクロン株渦中の「サミット」ではありましたが、ウイズコロナへの展望が見えた『元気の出る同窓会』であつたと思います。

和洋学園創立125周年の前哨戦として、高梨会長をはじめ役員の方々が、コツコツと積み上げてこられたことが実を結び、結果を残せたのだと思いました。次回、東京でお会いしましょう！



河川 和代 (富山県 H10 被服学科)

富山県支部の皆さんに声をかけていただき参加することができました。全17テーブルの中の⑭テーブルで石川県支部の皆さんと交流できました。たまたま和代・和枝・和子という名前で「和」トリオもでき、和枝さんとはご親戚と職場が一緒でおどろきのご縁に盛り上がりしました。

影山 淑子 (九段同窓会 S63 短大被服)

今年度よりむら竹会和洋九段同窓会の役員となりまして、初めての北陸金沢でのサミットに参加させて頂きました。

サミットは3部構成で行われ時間には大変長く予定されておりましたが、参加してみるとあつという間のようでした。主催された方々それぞれ大変熟慮されご準備された事と、頭の下がる思いでした。

遠路はるばる和洋の卒業生・関係者の方々が楽しそうにご参加されているお姿を拝見し、やはり和洋は素敵だと実感した会でした。ありがとうございました。

ラッピングバス
走る！



創立125周年を記念して、都営バスと京成バスの2路線でラッピングバスを運行。

都営バスは令和4年3月より、京成バスは4月より運行されています。(各18ヶ月間を予定)

ピンク色のかわいいバスに遭遇すると嬉しくなります。

文化の彩 和・洋・中

横笛・箏・鳴物の演奏



和楽器ユニット いのあ

フランスから来日シェフとの対談 京劇



金子 健彦副学長と伊藤 太朗氏



石山 雄太氏 各テーブルに飴を

乾杯の音頭



加藤 菊江さん

第 2 部

華やかに

ジャズ演奏



花岡詠二 ホンキートン・クランブラザース

朗読

稲村なおさん
西内 聖氏の詩を朗読
(元学園評議員)

バンド演奏

瞳みのるスペシャルバンド
(今回のザ・タイガースの衣装は服飾造形学科の助手の皆さんが制作)

盛り上がる会場



藤林 正美 (石川県 S57 国文学科)

二年越しの開催日は創立125周年の記念すべき当日でした。厳粛な和雅楽、軽妙なトークとジャズ、パリシェフと副学長とのトークショー、京劇、瞳みのる氏のザ・タイガースと盛り上がり、心に残る式典でした。高梨同窓会長、恩師の木谷名誉教授と写真をパチリ。

学園創立者、和洋の学祖、堀越千代女史の存在と顕彰碑建立に感銘を受けました。この会に携われた皆様に深く感謝申し上げます。有難うございました。



山根 敏江 (千葉県 S46 被服学科)

笛・箏・囃子の音色に幕が開き、京劇の孫悟空が舞い踊り、若き日夢中になった「ザ・タイガース」のバンドとステップをふみ、クラリネット・バンジョーのジャズに酔い、元パリ・ファッション・マドレーヌ温製料理部門料理長様の海外でのご活躍をお伺いした。まさに和・洋・中の文化の華が咲いたような素晴らしい心地よいひとときでした。

開会にご尽力くださった皆様には心より感謝申し上げます。

唐澤 時江 (長野県 S44 短大生活)

今回の式典に対面での開催とご来賓・先生方・諸先輩・後輩の皆様と久しぶりの交流が深められ、生き生きと輝いて見え充実感が溢れていました。思わず嬉しさが込み上げてしまいそうでした。また、ピーさんと金子副学長の演奏で会場が更に一つになりとても盛り上がり素敵な会でした。この様に人としての心豊かな学生を育てていただきますことを心より御祈念申し上げます。最後になりましたが、この会を開催するにあたり、むら竹会 和洋女子大学同窓会、高梨会長、事務局の皆様のご尽力頂きました事心より感謝申し上げます。

島村 美智子 (埼玉県 S44 生活学科)

金沢は幾多の伝統工芸が有名ですが、散策を通して現代アートや様々な技術革新に目を向けた街であることも知りました。過去と現在が織り成す魅力的な街の姿を見て「なぜ金沢なのか」が分った気がしました。私は、これまで多くの諸先輩方が培ってきた伝統をもとに新たな魅力を発信しながら未来に飛び立つ母校の姿を金沢に重ねたのです。

皆さん若い、瞳みのる(ザ・タイガースメンバー)バンドの演奏に総立ちで手拍子と拍手、とっても楽しいサミットでした。同窓会は盤石に、これからも学園の発展に寄り添った活動をされることでしょう。

中村 かおる (千葉県 S46 国文学科)

出演者の石山雄太さんのお母様は、私と和洋女子大学国文学科の同級生です。

雄太さんは高校卒業後、北京の中国戯曲学院に留学し京劇を学びました。日本人は唯一人という環境で学び、卒業後は京劇俳優として初の日本人俳優として中国京劇院(現・中国国家京劇院)に入団しました。中国・日本の両国で活躍し、日中友好のかけはしとなっています。

創立125周年記念企画

～服飾造形学科 オリジナルエコバッグ～

125周年記念企画として、服飾造形学科の学生が、オリジナルエコバッグをデザインから手掛け、いくつかの候補の中からプレゼンテーションの結果、3作品が選ばれ、量産を行いました。



第 3 部

そして未来へ

新学部ご紹介



国際学部
拜田 清 教授

看護学部
新谷 奈苗 教授

和洋を巣立った 若人達

和洋を巣立って
社会で活躍する
同窓生を
ビデオメッセージ
の形で紹介

校歌斉唱



御礼挨拶



指揮は田中 立さん



小林 幸子副会長



サミットの翌日

金沢市内観光 (参加者 21 名)

兼六園・金沢城公園・金沢21世紀美術館・会席料理の昼食・近江市場での買物……と、約5時間のツアーでした。



安中 正子 (群馬県 S47 英文学科)

「北陸サミットin金沢」では大変お世話になりました。

同窓会事務局の方々のご苦勞に感謝致します。そして、後輩の方たちの活躍、本当にうれしく思いました。翌日の計画の市内観光で皆様と過ごすことが出来たのは大変有意義でした。今後も会員の皆様が参加し易い計画を立てて頂ければと思います。

丸山 由美子 (長野県 S54 生活学科)

金沢でのサミットに参加できました事に心から良かったと思います。国内外でご活躍されている方々の演奏やお話に出会えた事は見聞が広がりました。又、他の支部の皆様に出会えた事、翌日の観光等貴重な経験を通して改めて和洋の伝統を感じました。役員の皆様ありがとうございました。

— 和洋女子大学総合研究機構『家庭科教育研究所』が設立されました —

家庭科の教員を長年にわたって数多く輩出してきた和洋女子大学に「家庭科教育研究所」が誕生しました。

家庭科教育に関わるすべての人たちが、その立場や分野を越えて協働する拠点。

小・中・高等学校の教員や研究者・学生たち・家庭科教育に関心のある方々、皆がつながり、家庭科の未来を創る。そのための様々な活動を展開していきます。

2022年11月19日には設立記念シンポジウムが開催され、約140名の皆さまが参加しました。

千代先生のお墓参り

日暮里駅から10分程の谷中霊園の一角に堀越家の墓所があります。

創立125周年の年、改めて学祖堀越千代先生を偲び感謝をお伝えしました。



御命日に近い4月5日でしたが、花吹雪の花曇りの中こちよい散策の一日となりました。



運営委員会を開催



コロナ禍により令和4年の本部総会は中止としました。

5月28日、審議事項がある為2年ぶりに対面で運営委員会を開催しました。

総会の議事について運営委員会で審議され承認されました。

支部会報告

長野県支部

支部長 太田 恵子



岩手県支部

支部長 菊池 房江



— 追 悼 —

長きにわたり支部長として活躍された方々の訃報が届きました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■ 兵庫県支部

西 翠 様(S23年 専門被服)

■ 群馬県支部

宮田泰子 様(S26年 専門生活)

大学同窓会室は引っ越しました！

師走の12月19日、同窓会室は改装なった新居(旧購買部)に引っ越しました。

西側一面総ガラス張り、床には芝生広場と同じ緑色の絨毯。コンクリートと石の重なり、壁面と個性的な三角形の室内。室内からはグリーンキャンパスが一望でき、四季の移ろいが楽しめる居所となりました。

12月26日にはお披露目の会を開催し、理事長・学長・学園の皆様、同窓生一同御礼の気持ちを表し、久しぶりに旧交をあたためる機会になりました。

素晴らしい同窓会室を活用し、今後の同窓会活動がより幅広く発展するよう皆様のご協力をお願い致します。



2023年 むら竹会 和洋女子大学同窓会 本部総会ご案内

日時：2023(令和5)年5月27日(土) 13時～15時 会場：和洋女子大学内

内容：①2023年議事の審議及び会員の情報交換 ②『北陸サミットin金沢』の映像鑑賞

※コロナウイルス感染拡大等により、状況に変更が生じる場合は同窓会ホームページに記載します。

又はむら竹会事務局にご確認ください。 ※茶・菓子の用意があります。総会費は無料です。

公開講座2023

- お問合せ、資料請求は地域連携センター renkei@wayo.ac.jp までご連絡ください
 ■ お申し込みの方は、和洋女子大学ホームページ <https://www.wayo.ac.jp/> からお申し込みください

	講師	講座タイトル	実施日
オンライン (Zoom)	田頭 慎一郎	なぜ人は歴史を物語るのか ～20世紀の日本から考える～	6月17日
	甲斐 万里子	私たちに音楽がある意味 ～心と身体に音楽がもたらすもの～	6月24日
	※佐瀬 竜一	心理学を活かした相手の心に届く・響く伝え方	7月1日
	二宮 祐子	医療的ケア児と家族への支援	7月15日
	※金丸 裕志	戦争はなぜ起きたのか? ～現代世界に広がる「プライド」の政治～	8月5日
	小笠原 祐子	フットケア ～足から元気になろう!～	10月14日
	水野 一枝	快適睡眠と健康 ～冬もぐっすり快眠法～	11月18日
	小野 真嗣	下総国と兵乱 ～平将門の乱・平維良の乱・平忠常の乱～	12月2日

※印の講座は、大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム公開講座です

和洋女子大学
文化資料館

東館 17 階から関東平野を一望できる眺めの良い資料館です。

年 2 回、春と秋に企画展示を行うほか、和洋で学ぶ学生たちの作品も随時展示します。

※新型コロナウイルス感染対策にともない、現在は本学学生
および教職員のみのお見学にさせていただきます。

■ お問合せ：
文化資料館オフィス (047-371-2494)

むら竹会 和洋女子大学同窓会 令和3年度 決算書

収入の部				
令和3年4月1日～令和4年3月31日				
款項目/科目	予算	決算	差異	
会 費 収 入	16,050,000	14,856,652	△1,193,348	
寄 付 金 収 入	50,000	235,000	185,000	
雑 収 入	7,600	16,458	8,858	
当 期 収 入 合 計	16,107,600	15,108,110	△999,490	
前 期 繰 越 収 支 差 額	65,517,561	65,517,561	0	
収 入 合 計	81,625,161	80,625,671	△999,490	

支出の部				
款項目/科目	予算	決算	差異	
本 部 費	1,400,000	1,240,220	△159,780	
管 理 費	1,480,000	1,007,977	△472,023	
会 員 援 助 費	650,000	890,030	240,030	
文 化 福 祉 活 動 費	100,000	88,100	△11,900	
編 集 部 費	4,870,000	4,345,794	△524,206	
商 品 代 金	100,000	0	△100,000	
記 念 事 業 積 立 金	5,000,000	5,000,000	0	
寄 付 金	0	0	0	
予 備 費	100,000	0	△100,000	
当 期 支 出 合 計	13,700,000	12,572,121	△1,127,879	
次 期 繰 越 金	67,925,161	68,053,550	128,389	
支 出 合 計	81,625,161	80,625,671	△999,490	

令和3年度 別途積立金

	預入先	前年度末残高	本年度積立	本年度末残高
記念事業積立金	三菱UFJ 銀行	5,000,000	5,000,000	10,000,000

社会人学び直しプログラム
(履修証明プログラム)のご案内

和洋女子大学では、学習ニーズの高い社会人を対象に、学び直しの教育プログラムを2010年4月よりスタートしました。急速に変化し、多様化していく社会に対応して、常に前向きに社会や地域で活躍しようとする心をもち、キャリアアップを目指していく女性に向けて学びの場を提供します。

詳細は、下記URLまたはQRコードよりご覧ください。

《大学ホームページ》

「社会人学び直しプログラム
(履修証明プログラム)」

URL <https://00m.in/0j8Or>

和洋女子大学
文化資料館

東館 17 階から関東平野を一望できる眺めの良い資料館です。

年 2 回、春と秋に企画展示を行うほか、和洋で学ぶ学生たちの作品も随時展示します。

※新型コロナウイルス感染対策にともない、現在は本学学生
および教職員のみのお見学にさせていただきます。

■ お問合せ：
文化資料館オフィス (047-371-2494)

むら竹会 和洋女子大学同窓会 令和3年度 決算書

収入の部				
令和3年4月1日～令和4年3月31日				
款項目/科目	予算	決算	差異	
会 費 収 入	16,050,000	14,856,652	△1,193,348	
寄 付 金 収 入	50,000	235,000	185,000	
雑 収 入	7,600	16,458	8,858	
当 期 収 入 合 計	16,107,600	15,108,110	△999,490	
前 期 繰 越 収 支 差 額	65,517,561	65,517,561	0	
収 入 合 計	81,625,161	80,625,671	△999,490	

支出の部				
款項目/科目	予算	決算	差異	
本 部 費	1,400,000	1,240,220	△159,780	
管 理 費	1,480,000	1,007,977	△472,023	
会 員 援 助 費	650,000	890,030	240,030	
文 化 福 祉 活 動 費	100,000	88,100	△11,900	
編 集 部 費	4,870,000	4,345,794	△524,206	
商 品 代 金	100,000	0	△100,000	
記 念 事 業 積 立 金	5,000,000	5,000,000	0	
寄 付 金	0	0	0	
予 備 費	100,000	0	△100,000	
当 期 支 出 合 計	13,700,000	12,572,121	△1,127,879	
次 期 繰 越 金	67,925,161	68,053,550	128,389	
支 出 合 計	81,625,161	80,625,671	△999,490	

令和3年度 別途積立金

	預入先	前年度末残高	本年度積立	本年度末残高
記念事業積立金	三菱UFJ 銀行	5,000,000	5,000,000	10,000,000

和洋女子大学ホームページ
<http://www.wayo.ac.jp>
(和洋女子大学でも検索)

卒業生の方へ

むら竹会 和洋女子大学同窓会

2023年度 むら竹会本部・支部総会・懇親会開催予定

開催日	都道府県	会長・支部長
5月27日(土)	本部総会	高 梨 禮 子
6月3日(土)	長野県	太 田 恵 子
6月24日(土)	岩手県	菊 池 房 江
10月22日(日)	東京都	永 瀬 富士子
11月11日(土)	千葉県	吉 井 紀 子

※次回開催日をその年の1月末日までに事務局にお知らせください。

監査報告

むら竹会 和洋女子大学同窓会の令和3年4月1日から
令和4年3月31日までの会計書類を監査いたしました。
その結果、全て適正であることを確認しました。

令和4年5月19日

監事 高野 俊
監事 榎本 春榮

★卒業後の住所変更のお願い

卒業後、住所変更をされた方はむら竹会和洋女子大学同窓会事務局まで新住所をお知らせください。

ハガキ・FAX等で旧姓・旧住所・新住所記入でお知らせ下さい。

★同窓会会費納入のお願い

同窓会の年会費は1,500円です。同窓会は会員の皆様から頂く会費により運営されております。平成25年3月以前に卒業の方は納入をお願いいたします。

★むら竹会事務局

月曜日から金曜日(対応可) 10時～16時

ただし、大学が休業の場合はお休みとなります。不在時はFAXの対応になります。

(TEL・FAX 047-373-4793)

むら竹会 和洋女子大学同窓会 〒272-8533 市川市国府台 2-3-1

あ と が き

ウクライナへのロシア軍侵攻が始まり1年が過ぎました。コロナ禍や地球温暖化と様々な難問が発生している現在、全世界で早急に解決策を練り、行動をしなければ希望がもてません。

他人事とは思わず、世界情勢や国内での事象に関心を持ち、自分にできることは何かと考え実行していかなければと思います。

ご多忙の中、会報へのご協力を頂きました同窓会、教職員ならびに学生の皆様に厚く御礼申し上げます。

次号に向けて、身近な情報やご意見をお寄せいただければ幸いです。

広報委員長 佐久間敏子
委 員 田中 立
中村かおる
堀中真知子
宮島 実子
山本 高美

